

中小企業の新たな成長を支える

南東京地域の中小企業支援

東京商工会議所

マッチングで受注拡大



東京商工会議所では、ビジネスマッチングを活発に行っていた。関東を中心とした25商工会議所は10月11日、東京・丸の内のレストランで製造業向けの第14回受発注商談会「ザ・商談！し・こ・と」を開いた。発注器具などの加工、組み立て企業38社、受注企業19社が参加し、355件の商談が行われた。仕事を獲得しうると受注企業は真摯になさうとして商談に臨んでいた。

商談テーマは樹脂成形・加工、金属製品や機械器具などの加工、組み立

都などの商工会議所も協力した。

城南地区からは中小製造業12社が受注獲得のために参加した。下水道の配管の水漏れを防ぐゴムリングの製造などを手掛ける信明産業（東京都大田区）は、自社のゴム製

振ることもある。我々につきあうことにメリットがあると発注企業に思ってもらうことが必要」と力をこめる。

各企業は商談会を通して生き残るための努力を続けている。

東京商工会議所の商談会（ザ・商談ししこ・発掘市）……

て、試作など。事前に発注企業が出す案件に受注企業が申し込み、受注企業の会社概要や所有設備などのデータを発注企業が見て商談をかけるかどうか判断する。事前のマッチングが成立した企業同士が実際に商談する仕組み。1商談は25分間の総入れ替え制。同商談会は関東付近だけでなく、仙台から札幌まで全国展開している。

品への応用用途を発注企業に提案した。松尾信彦営業本部営業部長は「商談の中で発注者が求めているものなど多くのヒントを得た。6社と商談し手応えがあった」と語る。

樹脂化成（東京都品川区）の平岡顕一社長は、「来てすぐに来てくれと言われた企業もあり、今回は実期がありそう」と受注に期待をかける。

商談会は発注企業から仕事を受けるだけが目的ではない。板金・製缶加工工を得意とする東新製作所（東京都大田区）で設計を手掛ける田統祥一氏は「まずは発注企業に当社は知っていることがよくあることを知ってもらうことが重要。加工の一連の工程を受注し、場合によっては共同生産体制を創り出すことも可能だ」と話す。

金融機関

新規事業・海外進出後押し

城南地区を中心に展開する金融機関も中小企業支援に本腰を入れてい
る。日本政策金融公庫・大森支店（東京都大田区）では、新規事業の支援に注力する。なかで
も、新規事業や企業再建に取り組む中小企業の財

ど行い、目利きの力を養っている。

城南信用金庫（東京都品川区）は、中小製造業への融資だけでなく、ビジネスマッチングなど多く支援策を進めている。

12年から東京都や東北地方などの信用金庫が共催

業種との交流やビジネス
マッチングを目的とした
ビジネスフェアなども開
催している。堀口哲彦理
事長は「展示会を通じて
中小企業のイノベーション
スピリットをアピール
していきたい」と意気込
みを語っている。

務体質強化を図るために資本性資金を供給する制度「挑戦支援資本強化特例制度（資本性ローン）」の活用を勧めている。利用限度額は1社あたり3億円で、債務は自己資本とみなされる。新規事業の意欲はあるものの、財務が厳しい企業を後押しできる。

同支店は3月から8月末までの期間に資本性ローンで23億円の融資実績をあげた。このうち企業再建向けが14億円で、新規事業向けが9億円。資本性ローンは次年度も拡充する計画だ。吉田久大森支店長は「金融機関として目利きの力が問われるため、強化する」方針だ。仕事によるオン・ザ・ジョブ・トレーニング（OJT）や、社内研修など、企業や行政などが参加する大規模な展示会を開催した。吉原穀理事業長は「全国各地の企業とネットワークを構築し、新しい仕事を創出するお手伝いをしたい」と意気込みをいう。10月にインドネシア投資調整庁（BKPM）と日本企業のインドネシア進出に関する支援業務で提携した。日本の中小企業によるインドネシアの進出を後押しする考えだ。

さわやか信用金庫（東京都渋谷区）は、中小企業への融資や相談を行っている。顧客が持つ経営力や技術に關して、同信金が仲介し、東京大学や東京都立産業技術研究センターなどが支援する仕組みを整えている。三井住友

世界から

大田へ 大田から未来へ

域と企業の発展をめざします

 東
東京都大田
TEL 03-37

東京商工会議所 大田支部

南蒲田1-20-20 大田区産業プラザ5階
4-1621 FAX 03-3731-9801 www.tokyo-cci.or.jp/ota

地域を支え

まで 平成26年2月に40周年を迎えます

 **東京**
東京都世田谷区
TEL 03-3413

を応援します

京商工会議所 世田谷支部

太子堂2-16-7 世田谷産業プラザ2階
TEL 03-3413-1461 FAX 03-3413-1465 www.tokyo-cci.or.jp/setagaya

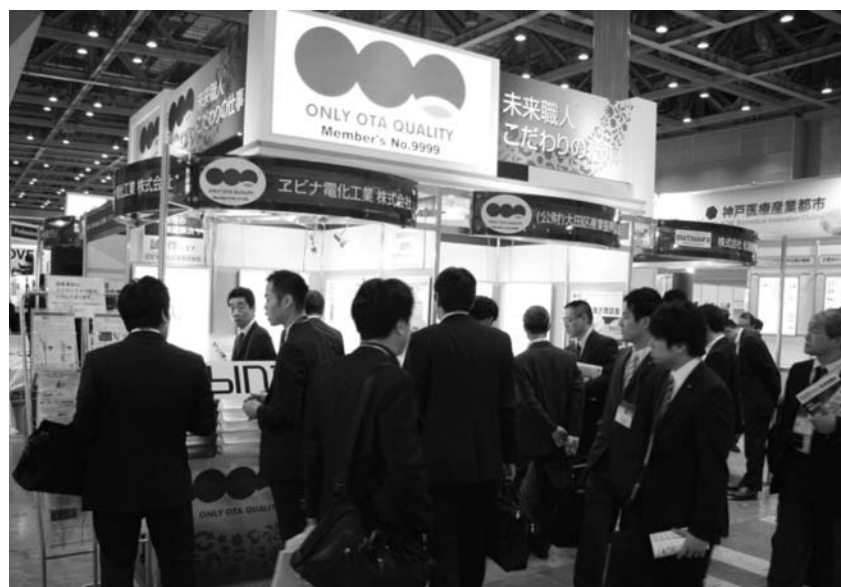
日本経済の発展のために中小製造業の活性化は不可欠であり、側面から支援する役割がよりいっそう求められている。中小製造業が集積する東京・城南地区において、行政や商工会議所、金融機関がどのような支援を行っているのか。下請けからの脱却、新規市場の開拓、海外展開など中小企業が共通して抱える課題と向き合っている。

大田区

医療機器プロジェクトを推進

品川 | X

区内企業のブランド向上に力



国内の医療機器専門展「MEDTEC」にも大田区として出展した



世田谷産業プラザ内に開設した就労支援センター

の応募があり、電源プラグ用省力アタッチメントを手がけるエイ・ピー・アイや、微流量制御ポンプを開発したサタコなど4社が選ばれた。10月30日から行われる「産業交流展2013」のなかで「メイドイン品川PRブース」を出展する。

世田谷区は仕事に就きたい人たちを支援している。10月から世田谷産業プラザ内に就労支援センターを開設した。キャリアアカウンセリングの担当者3人常駐し、就職や転職の相談に乗る。書籍やパソコンを備えた情報コーナーを窓口としており、ベビーカー置き場を用意するなど、女性にも配慮したつくりとなっている。14年1月以降は八口ワーク（公共職業安定所）も併設し、専用の事務局長は「困っている方」とにかく来ていただけるように」と来場を呼びかけている。

市場開拓や人材面で振興策

東京都大田区は中小企業の市場開拓を後押ししている。その一環で取り組んでいるのが医療機器市場。東京労災病院（大田区）や東邦大学医学部（同）などと区内の中小企業が一緒に「医療機器をつくるプロジェクト」を進めている。12年11月には東京労災病院に新しい工場アパートに「大田区医工連携支援センター」を開設。医師と企業のマッチングや共同プロジェクトの進捗（しんちょく）管理など行っている。さらには海外市場の

参加にも乗り出した。11月20日からドイツのデュッセルドルフ市で開催される医療機器見本市「COMPAMED（コンパメッド）」に区内企業と認定制度は13年度に14社

の応募があり、電源プラグ用省力アタッチメントを手がけるエイ・ピー・アイや、微流量制御ポンプを開発したサタコなど4社が選ばれた。10月30日から行われる「産業交流展2013」のなかで「メイドイン品川PRブース」を出展する。

世田谷区は仕事に就き

おかげさまで
平成26年4月に40周年を迎えます

あなたのビジネスを応援します



東京商工会議所品川支部

東京都品川区西品川1-28-3 区立中小企業センター4階
TEL 03-5498-6211 FAX 03-5498-6222 www.tokyo-cci.or.jp/shinagawa/

おかげさまで 平成26年5月に40周年を迎えます

ふれあいと活力のある街・目黒

「地域産業の発展」と「観光を切り口とした街づくり」を支援します



東京商工会議所 目黒支部

東京都目黒区目黒2-4-36 目黒区民センター4階
TEL 03-3791-3351 FAX 03-3791-3573 www.tokyo-cci.or.jp/meguro

日刊工業新聞社 南東京支局は、地域のモノづくりを応援しています。